

1 単 元 名 こおりや ゆき

2 指導要領の目標と内容

(1) 目 標

身近な自然の事物・現象に親しませ、それらを見たり試したりさせて、事物・現象の著しい特徴に気付かせるようにするとともに、自然に接する楽しさを味わわせる。

(2) 内 容

晴れた日や雨の降る日に、空や地面の様子を見たり、雨水、氷などを使った活動を工夫したりさせながら、天気によって地面の様子に違いがあることに気付かせる。

3 活 動 例

寒い日に校庭などで氷を探したり、氷を集めたり、氷を使ったいろいろな遊びを工夫したりして、氷のでき方やとけ方に気付かせるとともに、寒い日の自然現象のおもしろさを味わわせる。

例1 氷のはっているところを探しにいこう。

※ 冬の寒い日を選んで、池やプール、水たまりなどに張った氷を自由に探させる。

※ 氷のはっている様子や、氷のはる場所などに関心をもたせ、探すようにさせる。

例2 集めた氷を使ってあそぼう。

- 石をすべらせる。
- 厚さを比べる。
- 氷を水に入れる。
- 氷の上いろいろな物をのせてみる。
- ストローで息を吹きつけて穴をあける。
- 氷と氷を押しつけて穴をあける。
- 氷とかしをする。
- 氷をわる。
- 氷の上ののってすべる。



あつきくらべ



のぞきめがね
いきで あなをあける

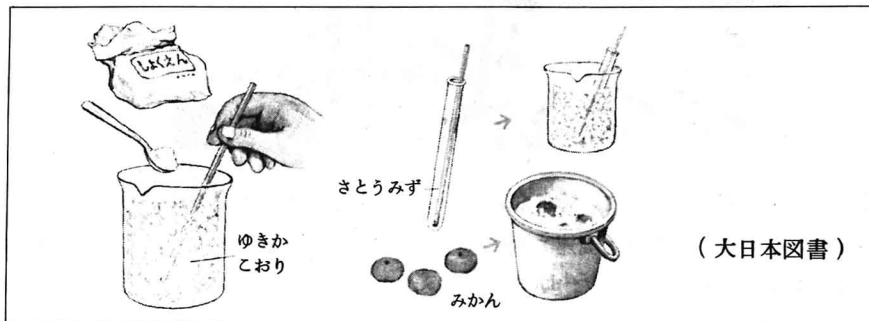


わる

(学校図書)

寒い日には水がこおることから、氷を作る活動を工夫して、氷ができていくおもしろさを味わわせる。

例3 アイスキャンデーやさんごっこをしてあそぼう。



(大日本図書)